

今月号の内容

1. ベルギーの政治・社会動向	1
2. ベルギーの経済・産業動向	2
3. 月例経済指標	5
4. EUの動向 JETRO ビジネス短信より	6
5. お知らせ	8

1. ベルギーの政治・社会動向

1 フランダース地域で、家庭用ソーラーパネルの設置件数が半減

報道によれば、2024年1~4月の4ヶ月間のフランダース地域の家庭用ソーラーパネル設置数は1万6,600枚で、前年同期比の約半数まで落ち込んだ。背景には、2023年末にソーラーパネル設置に対するフランダース政府の補助金が打ち切られたことが挙げられた。2023年12月には、ソーラーパネルの駆け込み需要が発生していた。さらに、エネルギー価格も要因として挙げられた。ロシアによるウクライナ侵攻によりガス価格が高騰し、ソーラーパネルに対する需要が拡大したものの、ガス価格が再び下がった結果、需要も縮小したという。一方で、フランダース地方の企業における新規設置件数は、前年同時期比で20%増となり、ソーラーパネルの価格低下を利用し、エネルギーコストの削減を進めているという。(2024年7月4日)

2 ドゥ・ウェイバー氏、9月20日までに新連邦政府の発足を目指す

6月9日にベルギー全土で実施された連邦議会下院や地域議会などの選挙結果を受けて、各種連立交渉が行われる中で、国王は連邦議会下院で第1党を獲得した新フランダース連合(N-VA、右派)の党首ドゥ・ウェイバー氏を、連邦政府の組閣交渉人として任命した。これにより同氏は、オランダ語圏政党としては「前進」(Vooruit、左派、旧別の社会党)とキリスト教民主フランダース(CD&V、保守)、フランス語圏からはコミット(Les Engagés、中道、旧中道民主人道主義)、改革運動(MR、穏健リベラル)の代表との新連邦政府樹立に向けた正式交渉を主導する。報道によれば、ドゥ・ウェイバー氏は、9月20日までに新しい連邦政府を発足したいと発言。背景として、欧州委員会にEUの財政規律を満たすための複数年度予算案の早期提出を目指しており、さらに、10月に予定されている自治体(コミューン)選挙への影響力も考慮しているという。交渉相手の1つであるCD&Vのマフディ党首も、自治体選挙前に連邦政府樹立を望むとコメントしている。(2024年7月10日)

3 フロン地域政府、内閣発足に伴う政治合意内容を発表

改革運動(MR)とコミット(Les Engagés)で構成されるフロン地域政府の新内閣発足に伴い、政治合意内容が発表された。それによれば、主な政策として以下の施策が挙げられている：①行政の簡素化を行い、州(地域の下位行政区分)政府の権限を他のレベルの政府へ移譲、②財政の負債比率を現在の約220~230%から180%まで縮小、③循環型素材や、健康、農産品、環境などの戦略的重要産業や、原子力発電と同廃棄物処理、二酸化炭素回収・貯留技術(CCUS)、水素、サイバーセキュリティなどの分野支援、④電気自動車などの自動車税の軽減

と、外国車両も対象となる通行税の導入、⑤風力発電開発枠組みの見直し等が含まれている。
(2024年7月11日)

4 エネルギー規制当局、水素市場の発展に向けた今後の課題と取り組みを提案

ベルギーの電力・ガス規制委員会（CREG）は、国内の水素市場の発展は予想よりも遅れているとし、その原因として、①規制、②電動化などその他の代替ソリューションと比較した場合の効率性、③水素と分子派生物（アンモニア等、輸入）のそれぞれに対する需要、④国内の水素関連産業と同バリューチェーンの発展等の要素に関する不確実性を挙げた。これらを克服するための課題として、CREGは以下の3点を挙げている：①輸入ルートや必要量、必要なインフラとその時期を明確にした水素と再生可能分子の輸入戦略を策定するとともに、過渡期におけるブルー水素の役割を明確にするなどし、再生可能または低炭素分子の利用可能性を保証する、②コストとバランスが取れた料金設定など、水素輸送インフラへの融資に伴うリスクを軽減する、③規制枠組みを整備し、水素と再生可能分子の輸入ターミナルの開発を支援する。(2024年7月16日)

5 フィリップ国王、建国記念日のスピーチでベルギーの「新たな結束」を訴える

フィリップ国王は、7月21日のベルギーの建国記念日での恒例の演説で、6月9日の選挙結果を「国の新しい結束の輪郭を描く」ために利用することを提案した。これにより、異なる政治レベルでの協力関係がより良いものになるはずだとした。国王によれば、今回の選挙結果は、各政党と地域間の「和解の可能性を示している」という。今回の結果を経済を強化するために活用すべきとして、製造業への支援や、競争力の強化、官民連携強化などを提案した。同時に、ベルギーは近年さまざまな危機をうまく乗り切ってきたものの、その対応コストによって、財政上の緊急性が生じていることを認めた。改革によって公共サービスの質を犠牲にしてはならないと訴えた。(2024年7月20日)

6 ベルギー、自転車男子でパリオリンピックで初のメダル獲得

レムコ・エヴェネプールとワウト・ファン・アールトは、自転車男子個人タイムトライアルで、それぞれ金メダルと銅メダルを獲得し、パリオリンピックでベルギー初のメダルを獲得した。エヴェネプール（24歳）は、現在のタイムトライアル世界チャンピオンで、世界ロードレースチャンピオン（2022年）、ヨーロッパ・タイムトライアルチャンピオン（2019年）、ベルギー・ロードレースチャンピオン（2023年）、ベルギー・タイムトライアルチャンピオン（2022年）、ツアー・オブ・スペイン（2022年）などで優勝し、最近のツール・ド・フランスでは3位に入賞している。(2024年7月27日)

2. ベルギーの経済・産業動向

1 ルーヴェン大学、imecやアイントホーフエン工科大学と半導体研究のパートナーシップ発表

ルーヴェン大学は、オランダのアイントホーフエン工科大学やImec、ASMLと共に、半導体技術の研究と人材の開発で、協力関係を強化するためのパートナーシップを締結したと発表した。同パートナーシップの下で、共同での博士人材の育成プログラムや、ジョイント・シード基金の設立による共同研究テーマの設定など、研究と教育の両面から、5つの戦略的行動分野で協力する。imecを中心とした半導体産業は、オランダとの連携に注力している。これに先

駆けて、6月に imec は ASML と共同で運営する「High NA EUV リソグラフィ・ラボ」をオランダのアイントホーフェンの郊外のフェルドホーフェンに開設した。同ラボは、半導体や、ロジックメーカー、先端材料・装置サプライヤーに対して、プロトタイプとなる半導体用の高性能スキャナー（NA EUV）とその周辺処理・設計ツールを提供する。（2024年7月1日）

2 中古電気自動車の登録台数が増加

モビリティ団体 Traxio よると、2024年上半期（1～6月）に中古市場で販売された電気自動車数は、前年同期比約87%増の1万112台と、ほぼ2倍となった（新車との合算値では52%増）。個人（49%）と企業（51%）で登録数に違いはなかったものの、前年同期と比べると個人登録の伸びが著しく、135%増の4,970台となった。背景として、フランダース政府が電気自動車の新車・中古車の購入に補助制度を設けていることが挙げられた。なお、ベルギー全体で販売された中古電気自動車のうち、76%がフランダースで登録されたと言う。一方で、同補助金が廃止されれば、個人向けの販売に影響が出る可能性があり、また、リースの終了した電気自動車が増加することで、残存価値の下落を招く可能性も指摘されている。（2024年7月2日）

3 エンジー、欧州最大級のバッテリーパークの建設に着手

フランスの大手電力事業者エンジーは、ブリュッセル郊外のビルボードで欧州最大級となるバッテリーパークの建設に着手したと発表した。2025年9月に稼働予定の同バッテリーパークは、まず100MWが稼働した後に、2026年1月にさらに100MWが稼働する。完全に稼働すれば、800MWhの電力を貯蔵し、グリッドへ4時間の電力供給が可能となり、フル充電で約9万6,000世帯の消費電力を賄うことができる。同社はベルギー国内ではさらに、アントワープ近郊のカロ（100MW）とブリュッセル近郊のドロゲンボス（80MW）の2カ所にバッテリーパークの開発を予定している。（2024年7月5日）

4 メレキシステクノロジーズ、マレーシアに世界最大のウェーハテストサイトを開設

半導体メーカー、メレキシステクノロジーズは、マレーシアのサラワク州クチンに世界最大のウェーハテストサイトを開設したと発表した。テストサイトには、今後10年間で倍増すると見込まれる半導体需要の拡大に対応するために、集積回路（IC）のテストに使用される半導体ウェーハテスト装置90台が設置された。同社は、マレーシアを選定した理由の1つとして、主要サプライヤーのひとつであるX-FABのウェーハファウンドリーに隣接しており、物流の合理化と、エコロジカル・フットプリントの削減が図れることを挙げた。（2024年7月10日）

5 ゲント大学のスピンオフ企業 Trince、科学雑誌『ネイチャー』のスピンオフ賞を受賞

ゲント大学のスピンオフ企業 Trince は、科学雑誌『ネイチャー』のスピンオフ賞を受賞した。同賞は、独創的で質の高い科学研究成果を、市場の課題に対応し、社会に好影響を与える製品・サービスに転換したスピンオフ企業を表彰するもの。DNAやその他の分子を細胞に導入するための、より安全で新しい方法に関する研究が受賞の理由。この新しい方法は、がんや遺伝性疾患の治療における細胞・遺伝子治療で重要な役割を果たすと期待されている。同社は3月には、ナノテクノロジーやマイクロ流体光学などを組み合わせた細胞治療製品の製造プロ

ジェクトについて、コンソーシアムを形成するその他2社と共同で、欧州イノベーション協議会（EIC）から250万EURの補助金を得ている。（2024年7月12日）

6 ビリヤエナジー、国内初のグリーン水素製造施設建設の最終投資計画を決定

ベルギーのエネルギー開発大手のビリヤエナジーは、産業用ガス大手メッサーなどと共同で、国内初となるグリーン水素の製造施設建設に向けた最終投資決定を発表した。同施設はベルギー北西部のゼーブルージュ（アントワープ・ブリュージュ港内）に建設される予定で、2026年に水素の製造開始が見込まれる。25メガワット（MW）の電解槽を備え、年間2万5,000トンの二酸化炭素（CO₂）排出削減に貢献する。（2024年7月25日）

★詳細はジェットロビジネス短信（2024年8月1日付）

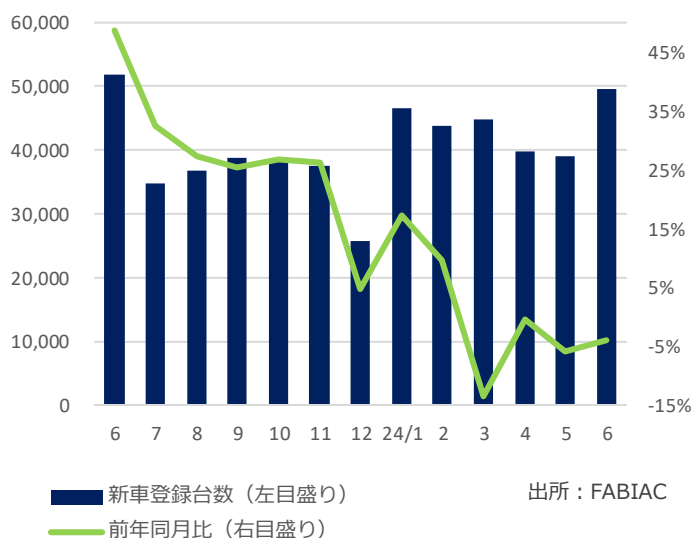
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/08/779338c9d8fc5812.html>

3. 月例経済指標

6月の新車登録台数 前年同月比4.0%減

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によれば、6月の乗用車の新車登録台数は、4万9,662台（前年同月比4.0%減）と縮小した。一方、2024年上半期の新車登録台数は、前年同期比0.4%減と微減にとどまった。メーカー別では、フォルクスワーゲンのシェアが8.65%と最大で、BMW（8.52%）、アウディ（6.00%）が続いた。（2024年7月2日）

新車登録台数の推移



7月のインフレ率 前年同月比3.64%上昇

連邦経済省の発表によると、7月の消費者物価指数は前年同月比で3.64%上昇した。高い人件費を背景にサービス産業のインフレが高止まりしている。航空券、ホテル宿泊料、休暇村、キャンプ場、レストラン・カフェ、天然ガス、たばこ、車両燃料、国内ツアー旅行が押し上げ要因となった。海外旅行と国内旅行が押し下げ要因となった。（2024年7月29日）

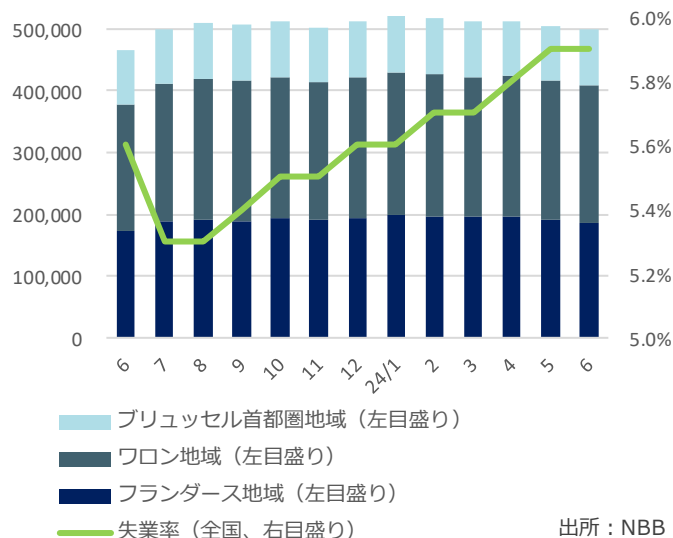
消費者物価上昇率（前年同月比）



6月の失業率5.9%、前年同月比0.3ポイント増

ベルギー国立銀行（NBB）によれば、国内の6月の失業率（季節調整値）は、前月から横ばいの5.9%（前年同月比0.3ポイント増）だった。各地域政府が発表した失業率をみると、ブリュッセル首都圏地域の6月の失業率は、前年同月比（以下同じ）0.3ポイント増で14.2%、フランダース地域は、0.2ポイント増で6.2%となった。ワロン地域は、1.0ポイント増の13.8%となった。地域別の失業者数では、フランダース地域が18万5,777人、ワロン地域が22万4,154人、ブリュッセル首都圏地域が8万9,156人だった。（2024年7月4、12、30日）

失業率と地域別失業者数の推移



※ベースとなる労働力人口の算出方法は地域により異なる。

4. EUの動向 | JETRO ビジネス短信より

(1) 欧州理事会、欧州委員会のフォン・デア・ライエン委員長を次期委員長候補に指名 (2024年7月1日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/b6dc7c36510b6173>

(2) 欧州議会選後のイベリア半島水素政策、ポルトガルは現実路線にシフト (2024年7月1日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/ad07c3a8c272f41a>

(3) EU 首脳、域内産業の競争力強化を今後5年間の最優先課題に (2024年7月4日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/c24c1fc303b8d682>

(4) EU 議長国ハンガリー、誠実な協力姿勢示す (2024年7月5日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/433e87b9aba6d56f>

(5) 欧州委、中国製 BEV への暫定的な相殺関税措置を発動 (2024年7月8日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2d75dbf149b656c0>

(6) 欧州産業連盟、EU の下半期に向け政策提言書を発表 (2024年7月8日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/3cb9f79223011bf6>

(7) オルバーン首相、EU 議長国就任直後にウクライナ大統領と会談、2 国間関係の軟化を図る (2024年7月8日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/57652f444d1d1a21>

(8) EU のロシア産穀物輸入関税引き上げが発効、ロシアへの影響は限定的 (2024年7月8日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/9541f59412f1f18c>

(9) グリーン・ディール関連法の本格実施前に、EU 加盟国の GHG 排出削減計画の策定に遅れ (2024年7月9日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/00181b52504adfacc>

(10) 極右新会派が発足、欧州議会の第3勢力に (2024年7月10日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/8d144d6fb630989c>

(11) ドイツの極右政党、新極右会派を発足、欧州議会の極右勢力の再編続く (2024年7月12日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/c0c2988517da8bcc>

(12) 中国が EU の外国補助金規則への貿易投資障壁調査を開始 (2024年7月12日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/aef91a8cf9d4eae0>

(13) EU のエコデザイン規則、7月18日から施行 (2024年7月16日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/f2af2bb5a7f33a8e>

(14) 第3回タイ・EU FTA 交渉と第7回 ACFTA 3.0 交渉実施 (2024年7月16日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/aba95d9267b07f43>

(15) ロベルタ・メツォラ欧州議会議長が再選 (2024年7月17日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/84760c86f34ac7ea>

(16) 欧州委のフォン・デア・ライエン委員長、2029 年までの続投が決定 (2024 年 7 月 19 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/1c3f3e5ebafebb46>

(17) 欧州中央銀行、金利を据え置き、9 月利下げは未定 (2024 年 7 月 19 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/55c9f2c8aab47e01>

(18) EU 米データ・プライバシー枠組み第 1 回レビュー会合、個人データ保護強化を評価 (2024 年 7 月 23 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/93cd316444f843bb>

(19) 欧州委委員長信任投票前の演説から見る、欧州議会各会派の立場の違い (2024 年 7 月 23 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/f8a6f4733492b734>

(20) 欧州委委員長、2029 年までの政治指針を発表、競争力強化を最優先 (2024 年 7 月 30 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/07/68b1b868afb93412.html>

(21) 欧州会計検査院、グリーン水素に関する欧州委目標は野心的すぎると指摘 (2024 年 7 月 31 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/07/e4a38bb52dedeab0.html>

(22) シンガポールと EU、デジタル貿易協定交渉が妥結 (2024 年 7 月 31 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/07/f5b6819512c688f8.html>

(23) 世界の政治・経済日程 (2024 年 8~10 月) (欧州) (2024 年 7 月 31 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/07/303c455ccb32493b.html>

★次のページにレポート・イベント等のお知らせがあります。

5. お知らせ

★メールマガジン「ジェットロ EU トピックス」のご案内

ジェットロ・ブリュッセル事務所では、EU の最新情報や欧州域内のジェットロ各事務所が実施するセミナー情報などをお届けするメールマガジン「ジェットロ EU トピックス」を配信しています。配信日は毎月第 1 木曜日を目安としています。配信を希望される方は、以下のようにお申し込みください。

(1) 欧州域内にお住まいの方：以下の必要事項をご記入の上、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお申し込み下さい。

①お名前とご所属先（英文・和文）、②お住まいの国名、③送付先メールアドレス

(2) 欧州地域以外に在住の方：以下の URL からお申し込みください。

https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be_brussels/mail.html

※内容についてなど、ご質問などございましたら、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお問い合わせください。

調査レポートのご案内

- 地域・分析レポート「欧州議会選挙から占う今後の EU 政策」（2024 年 7 月）

1. 選挙結果の概要

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/570b14c606f7c007.html>

2. EU 政策への影響

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/e016d5c271f0f091.html>

※以下の特集もご参照ください。

「欧州最新政治情勢：欧州の行方を見定める注目論点」

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701.html>

「2024 年欧州政治動向」

<https://www.jetro.go.jp/biznews/feature/europolitics2024.html>

- 主要国の自動車生産・販売動向（2024 年 7 月）

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/01/b8108a3ebf32792b.html>

※欧州各国の市場動向は以下のリンクからも個別にご覧いただけます：

・EU：「自動車市場が回復軌道に、販売台数は 4 年ぶり前年比増」

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/543c57d31c395017.html>

・ドイツ：「2023 年の乗用車市場（前編） ドイツ国内乗用車生産・新規登録台数が好調」

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/63944d0ef292d580.html>

・フランス：「2023 年の乗用車新規登録台数、BEV が急伸」

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/b10ce5dfe80d30af.html>

・英国：「2023 年の新車登録と生産台数は堅調」

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/4ff90d8ec8b4fddb.html>

- ・ベルギー：「2023 年新車登録台数、前年比 30.1%増の V 字回復」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/0d9f7e1ecd511607.html>
 - ・ルーマニア：「新車登録は EV 含め増加、自動車生産は過去最多を記録」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/f97d05b21426032c.html>
 - ・オランダ：「2023 年の新車登録台数は前年比約 19%増、EV が好調」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/f4a4ea65131ab20a.html>
 - ・チェコ：「2023 年の乗用車生産・新規登録台数ともに約 15%増」
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/390027d639340380.html>
- ジェトロ世界貿易投資報告 2024 年版（2024 年 7 月）
<https://www.jetro.go.jp/world/gtir/2024.html>
 - 地域・分析レポート「在中国 EU 企業、利益は前年並み維持、ビジネス環境の厳しさ増す」（2024 年 7 月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/0b11ed4fcdad9e61.html>
 - 地域・分析レポート「EU のエネルギー憲章条約脱退が意味するもの」（2024 年 6 月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/7cc4edb7f2600c12.html>

ジェトロでは、上記以外にも様々な欧州関連の調査レポート、地域・分析レポートを公開しています。以下 URL よりご参照ください。

<https://www.jetro.go.jp/reportstop/europe/reports/>
<https://www.jetro.go.jp/areareportstop/europe/areareports/>

ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ

ベルギー日本人会商工委員会と JETRO ブリュッセル事務所は、EU の政策動向、欧州各国の政治・経済情勢、労務・法務・会計等の制度情報など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に 4 回程度開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、belinfo@jetro.go.jp までメールアドレスをご連絡ください。

ベルギー拠点設立に関する専門家相談サービスのご案内（法務・労務・税務）

JETRO ブリュッセル事務所では、ベルギーに拠点設立を検討されている企業様、または進出後まもない企業様を対象に、弁護士・税理士等によるコンサルテーションサービスを提供しています。2 時間まで無料でご利用いただけます。ぜひご活用ください。

※原則として中堅・中小企業を対象としていますが、大企業も対象とできる場合があります。詳細はお問合せください。

サービス詳細・お申込み

<https://forms.office.com/r/MDqXipfgZf>

お問合わせ先 | ジェトロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp)